



鶴ヶ島第一小学校
学校だより

学校教育目標

かしこく なかよく たくましく



ゆずりは

11月号 NO8

令和5年11月1日



読書が大事というけれど・・・

校長 吉澤 充

運動会が終わり、本校では10月24日から読書週間と位置づけ「本」に触れる機会を多くしています。

さて、昨今、動画配信サービスやスマートフォン(以下:スマホ)の普及に伴い児童の“活字離れ”を心配する報道が多く見聞きするようになりました。



そこで今回は、“活字に触れる=読書に親しむ”ことの有効性について、脳科学の観点から「読書」を分析した書籍の知見を参考にしながら紹介していきます。

まず、“読書をする子は、頭がいい”といわれることについての検証です。この書籍の中では、「読書」の時間と「学力」テストの結果について、7万人の小中学生のデータを数年にわたって収集し、分析したそうです。(ここでの「学力」はテストのように知識等を問うものです。)その結果、読書習慣のある児童は、読書習慣のない児童に比べて成績が良いということが明らかになったそうです。

そこで、本校でも今年実施した「全国学力学習状況調査」の結果を分析しました。教科の正答率と質問紙の“1か月に何冊ぐらいの本を読みますか”という質問の回答について分析したところ、国語に関して、正答率が高かった上位25%のグループの児童の多くは、“月に3冊以上の本を読んでいる”と回答していました。書籍と同じ結果になりました。

次に成績とも関係していますが、読書に伴う脳の働きについてです。読書をすると新しい言葉を覚えたり、知らなかった知識を得たり、文章や行間から、主人公の想いや風景を想像する等の想像力が豊かになったりと多くの良いことがあるといわれます。そこで、実際に読書をしている時の脳の働きについて、紹介します。目に映るもの(写真・動画・活字など)すべては、最初に後頭部(脳の一部)で処理されます。そこから活字については、脳全体の血流が良くなり“言語”の他に“理論的な思考、短期記憶、感情の抑制、想像力や思いやり”等の機能が活発になることが証明されました。一方、映像とりわけゲーム・テレビ・スマホを使用しているときには、脳の活動が抑制されてしまっていることが分かりました。つまり息抜き程度の使用であれば問題ないと思いますが、依存のような状態でゲーム・テレビ・スマホ等を使用していると、成長にマイナスの影響があるということが医学的に証明されています。

最後は、読み聞かせと音読についてです。読み聞かせについては、平成25年度の全国学力学習状況調査の報告書の中で“小さい頃の家庭での読書活動(親による読み聞かせ)が子どもの

その後の学力に影響を与える”ということが記載されています。お子様が幼い時には、よく本を読み聞かせていたのではないのでしょうか。親しい大人の心のこもった読み聞かせをすると子どもは、音や声を聴くという脳の一部分だけではなく、感情反応や記憶に係る脳の部位も活発に活動することが分かっています。これは、子どもの感情や情操面が豊かに育まれていくことにつながっています。ちなみに、機械音での読み聞かせでは、同様の脳の働きは見られないそうです。

次は、音読についてです。本を読む時は、普段黙読だと思いますが、脳が成長している幼児期や学童期は、声に出すという音読は、黙読よりも、はるかに脳にとってよい行為なのです。漢字の読み方や単語の意味、文の流れや文章の切れ目を考えながら読むことが必要になるため、自然と、文章構造や物語や説明文の構成や展開を考えるようになります。また、音読をするということは、文章を目で追い、声に出し、自分の耳で聞くという視覚と聴覚も活発になります。このように脳全体が活発になり理解力や記憶力が向上します。

このように長々と読書の良さを書かせていただきましたが、「子どもが本を読まないな」と思っただけでいらっしゃるご家庭がありましたら、悲観せずに学校の読書週間を大いに利用していただき、読み聞かせをする、一緒に図書館に行ってみる、子どもと同じ本を読んでみる等取り組んでみてはいかがでしょうか。学校とともに、本が好きといえる子どもを育てていきましょう。

連合運動会の実施

9月28日(木)に長久保小学校で市内8校の小学校による連合運動会が開催されました。市内の5年生と6年生が一堂に会し、陸上競技や綱引きなどで競い合いました。全力で競技に取り組み、仲間に温かい声援や応援をすることができていました。また、開閉会式での態度もとても立派でした。



4年生の校外学習の実施

10月4日(水)に社会科の学習として「川の博物館」と「東秩父村の和紙の里」へ行きました。和紙の里では、実際に紙すき体験をしました。



運動会の実施

10月21日(土)に運動会を開催しました。夏休み前から赤組・青組に分かれてこの日のために準備してきました。今年は、これまで教員が行っていた司会進行等も高学年の児童に任せました。それぞれの場所や場面で児童が責任感をもって、自分の仕事を遂行してくれました。一人一人が笑顔の運動会になりました。



お話会の実施

10月24日(火)と26日(木)にピーターパン(毎週水曜日に活動している「読み聞かせボランティア」)さんたちが、読み聞かせを行ってくれました。どの児童も夢中で話を聞いていました。

